

第三章 和解の福音
を共に生きる「この所」の
の続き、最後まで)

3. 地域社会において
私たちは、地域社会にお
いて和解の福音を共に生き
ることによって、伝道の働
きが進むものと思えます。

4. 日本において
私たちは主にあって日本
を愛するゆえに、この社会
に存在する諸問題に関心を
抱き、ここに神の義と愛が
実現されることを求めてい
きます。

第4回日本伝道会議・沖縄宣言
「21世紀の日本を担う教会の伝道-和解の福音を共に生きる-」

私たちは、世界宣教の使
命を負っています。「豊か
な社会」と「貧しい社会」
に二分された世界の中に、
私たちが平和を求め、その
ために祈り、働きかけま
す。

私たちは、和解の福音を宣
え、共に生き、そして和解
のために祈り、働きかけま
す。世界は「破れの狭間」
に立つて祈る使命を神から
与えられていることを確信
し、共に祈りましょう。

ろんせつ
<論説>



論説委員
中川 健一

よくな時代は、すでに終わった。今
私たちがしなければならないこと
は、人類の幸福に寄与するための普
遍的な方策を見出し、それを実行
に移すことである。そうなるには、
日本は世界の中で評価される
ようにな
る。

内向き志向から外向き志向への転換

最近知った情報であるが、ここ十
年間で、アジア系アメリカ人のクリ
スチャン人口が五パーセントから二
七パーセントと、四四パーセント
も増加している (Bara Research
Group) の調査結果)。そこから筆者は、
次のような祈りに導かれている。

祈りとは、現実に叶えられつつあるよ
うに感じる。ロサンゼルス地区を中
心に、教会協力の業が進められてお
り、今年十二月には、「AD2000
Ooklusmas・セラブレーション」
LAという集会が予定されている。
この教会協力は、AD2000運動
の一環として起っており、今まで
になかった深みと広がりを持つつ
つある。

「1」日本に滞在している外国人
に関心を示す道がある。彼らは、異
国での生活の困難さに直面し、友人
を求めたり、助けを必要としたらし
ていることが多い。

「2」ホームページやEメールを
通して、海外宣教の実体をより具体
的につかむ道もある。上記の「世界
宣教・国際協力2000」祈りと支
援のガイドは、情報収集の役に立
つ。それをもとに、祈り始めよう。

「3」海外旅行をする場合は、事
前にその地区の教会の情報を取り、
教会訪問をしてはどうだろうか。お
互いの信仰によって励まし合うこと
が可能になる。

「4」個人でも教会でも、特定の
国や宣教団体、あるいは宣教師を取
り上げ、そこに祈りや献金による支
援を集中させたらいかがだろうか。
どんな方法でもよい、とにかく自
分に出来ることから始めよう。主
イエスの「受けるよりも与えるほ
うが幸いである。」(使徒二〇・35)
と、いつの日か思い起さう。

世界宣教・国際協力
クリスチャン新聞の七月九日号に
は、「世界宣教・国際協力2000
性」を強調する上で自己確認をする

「1」アジア系アメリカ人の間に
起っているバイバルが、日系ア
メリカ人教会にも及ぶように、この

「1」個人でも教会でも、特定の
国や宣教団体、あるいは宣教師を取
り上げ、そこに祈りや献金による支
援を集中させたらいかがだろうか。
どんな方法でもよい、とにかく自
分に出来ることから始めよう。主
イエスの「受けるよりも与えるほ
うが幸いである。」(使徒二〇・35)
と、いつの日か思い起さう。

「1」個人でも教会でも、特定の
国や宣教団体、あるいは宣教師を取
り上げ、そこに祈りや献金による支
援を集中させたらいかがだろうか。
どんな方法でもよい、とにかく自
分に出来ることから始めよう。主
イエスの「受けるよりも与えるほ
うが幸いである。」(使徒二〇・35)
と、いつの日か思い起さう。

「1」個人でも教会でも、特定の
国や宣教団体、あるいは宣教師を取
り上げ、そこに祈りや献金による支
援を集中させたらいかがだろうか。
どんな方法でもよい、とにかく自
分に出来ることから始めよう。主
イエスの「受けるよりも与えるほ
うが幸いである。」(使徒二〇・35)
と、いつの日か思い起さう。



九州・沖縄サミットに合
わせ、重債務国の債務帳消
しを求めている「ジュビリ
2000」運動関係者ら
は、那覇市で七月十九日か
らこの問題に関する国際会
議を開き、沖縄サミット初
日の七月二十一日、ケレン
サミットで合意した債務帳
消しの速やかな実行を求め
るG7に対する要請書を森
首相に届けた。
五十年に一度、負債を赦
し奴隷を解放することを定
めた旧約聖書の「ヨハル
の精神を、キリスト降誕
〇〇〇年に際して現実の国
際社会に実現しようと教会
各地の平和集会
【仙合】8・15平和
求めるキリスト者合同祈
集会(主催・仙台キリ
ト教連会)8月13日(日)
午後2時。仙台市青葉
区のカトリック仙台司教
セターで、講師はソウル大
名譽教授、韓国教会史研
所顧問の李元淳(イ・ウ
ンソン)氏。テーマは「
史におけるゆるりと和解
キリストにある韓国の兄
から日本の兄弟姉妹へ」
022・2233・44
9(酒井)「李元淳先生を
共に日韓の歴史をめぐ
バスツアー8月14日(日)

貧困国救済を訴えたも
沖縄サミットでは

一方で、人材の確保育成が
今一番大きな課題となっ
ていることも報告された。
日本キングス・ガーデン
連合代表の泉田昭氏は、経
営が厳しくなる施設がある
中で、キングス・ガーデン
の各施設の経営が軌道に乗
ってきたのは、「これまで
のキリスト教精神に根差し
た動きが利用者や評価を得
たこと。これからは、施設
により一層の差別化が求め
られており、まさにキング
ス・ガーデンにとって特色
を出しやすいう環境になっ
た」と語る。
また、泉田氏は昨年、川
越キングス・ガーデンが水

「愛の福祉」特色が評価
「介護保険 前向きに受け止め
グデン
キング
四月にスタートした介護
保険制度は介護の現場に混
乱をもたらしながらも、今
後の介護の方向を示すもの
として、評価され始めている。
七月六日、七日、茨城
県つくば市のつくば国際会
議場で開催された日本キン
グス・ガーデン連合代表者
研修会では、介護保険導入
後の各施設から、介護保険
を前向きに受け止めている
状況が報告された。各施設
ともコンピュータ導入や人
員の適正配置などの経営の
効率化を図りながら、如遇
(ケア)の質を高め維持す
る努力を続けていることな
どがレポートされた。その